

退職のごあいさつ

舎人あかしあ園での3年間、そしてあいのわ福祉会での19年間、皆様の暖かいご支援、お心遣いのおかげでなんとかやってこれました。本当にありがとうございました。楽しい思い出も沢山ありますが、正直、大変なことも沢山ありました。そして沢山の経験を通して、障がい者支援という枠組みの中だけのことでなく、自分自身が生きていく上で大事なことを沢山学ぶことができました。残念だったことは、私が舎人あかしあ園に来てからの半分以上がコロナ禍で、ご利用者の皆さんと密に関わる機会が少なかったこと、ご家族の皆さん、地域の方々に来園していただいたり、お話ししたりする機会が極端に少なかったことです。コロナ禍はまだまだ続きそうですが、お互い元気でいれば、いつかまたお会いする機会に恵まれるかもしれません。皆さん、どうかお元気で。（記：草野）

給食

舎人あかしあ園では利用者の皆さんにアンケートを取り普段は給食に出ない好きなメニューを月に1度食べる事の出来る機会を提供しています。

ご家庭で食べた物、TVで見た料理、ご自分が好きな料理など、様々なリクエストから厳選されたメニューを召し上がっていただいています。

当日になると、「これ私がリクエストしたんだよ！」「こんな料理があるんだ！？」と会話が弾み、給食が彩り豊かになったように感じます。

利用者の皆さん、アンケートにご協力頂き、ありがとうございました。これからも美味しく楽しい給食を心がけていきます。（記：荒井）

リクエストした野口花音様



3月リクエスト『キャロットラペ』



11月のリクエスト『揚げパン』

編集後記

今年度最後の「人舎人」発行となります。今年度も「人舎人」を通じて様々な事柄を皆さまにお伝えしてきました。感染症対策のため活動の規模が縮小されたこともありましたが、少しでも舎人あかしあ園の様子が伝われば幸いです。来年度も「人舎人」をよろしくお願いします。（記：柳川、片桐）

施設長より

いつも舎人あかしあ園の運営に対しまして温かいご支援とご協力を賜りまして誠にありがとうございます。

3月を迎え、今年度もまとめの時期となりました。本年度もコロナ禍に始まりコロナ禍で終わろうとしております。施設では感染予防を徹底しながらも、職員一人ひとりが考え、アイデアを出し合い日々の活動や作業を充実させようと創意工夫を重ねてまいりました。施設単体では、大きく感染が拡大することもなく、これもご利用者やご家族の感染予防を意識した行動やご協力によるものと実感しております。

その様な中で、本年度は2名の方の成人を祝う会、1名の方の還暦祝いを実施できて、何

か一筋の光を見たような気持ちになりました。20年、60年と共に歩んでこられたご家族の方のご苦労と喜びを共感できる機会に立ち会えたことを本当に素晴らしいと思います。

令和4年度も、ご利用者一人ひとりを大切に考え、職員一同アイデアを出し合い一丸となってこのコロナ禍を乗り越えていきたいと思います。

最後になりましたが、これからもお一人お一人にとって舎人あかしあ園が大切な場所になりますことを願い、年度末の挨拶とさせていただきます。（記：市原）

看護師より

＜花粉症に気をつけましょう！＞

春は花粉症の時期でもあります。年間の花粉尘流行の時期は、2～4月はスギ、4月ヒノキ、5月～6月はハルガモ、カモガヤ、9月ブタクサの順で花粉症があるそうです。花粉症になったら薬での治療が中心となりますが、症状がひどいときに軽くする方法をいくつかお伝えします。

鼻水、鼻づまりがひどいときは、温かい蒸しタオルを鼻の部位にあて温めたり、入浴をして温まったりすることで、蒸気による鼻の通りの改善が期待できます。目のかゆみを軽減するには、花粉症用メガネをかけると花粉量が防御できます。マスクは必需

品ですが、マスクの内側にガーゼを入れて、鼻や口に花粉が入るのを少なくすることもできます。のどのイガイガ感がひどいときは、うがいをして喉についた花粉を洗い流すと緩和されます。（記：新垣）



還暦祝



今年めでたく還暦を迎えました岡部照子様の還暦を祝う会を3月24日大安に行いました。式に行いました「岡部様が何をしているでしょうか？クイズ」では、岡部様が舎人あかしあ園で過ごされてきた写真をみながら、思い出を振り返りました。参加できない他フロアのグループからはお祝いソングもいただきました。これからも笑顔が素敵で周りを温かくしてくれる岡部様の活躍をご期待しています♪（記：柳川）

防災

舎人あかしあ園では、3月2、3日の2日間で不審者対応訓練を行いました。

例年ですと警察署の防犯係の方に来所していただき、どのような対応が望ましいのか、利用者様の安全を守るにはどのようにしたら良いか等をご指導していただいていたのですが、新型コロナウイルス感染症が猛威を振るっている昨今、新型コロナウイルス感染症拡大予防の為、職員のみでの実施となりました。

コロナ禍以前に行った不審者対応訓練の映像を確認し、実際にサスマタを使用して、サスマタの使用方法や不審者を施設の中に入れないようにするにはどのようにしたら良いのか、理解を深めました。

次年度も感染症対策をしながら、防災訓練を実施し、皆様が安心・安全に通所出来るように努めてまいります。（記：長岡）



グループ活動紹介

Aグループ

今年度の始めは、環境の変化があり、戸惑われたことも多かったと思います。大きく変わった中でも、個別の取り組みとして「チャレンジタイム」を新たに設けました。それぞれに興味がある事や、課題となっているものに目を向けた取り組みで、理学療法士の先生からアドバイスをいただいて、体の緊張を取る姿勢でのんびりしたり、パソコンの操作を職員と一緒に学んだり、イラストなどを入れた「給食の献立」を見やすく書いて朝のミーティングで発表したりしました。

年度末を前に、利用者の皆さんも意欲的にチャレンジタイムに参加しています。それぞれの活動が、利用者みなさんの将来に役立つと考え、今後もサポートできればと思っています。（記：堀内）



Bグループ

2月3日に節分イベントを行いました。まずは当日のために、豆と鬼の仮面を作りました。チラシをみんなで丸めて豆を作ったのですが、「こんな大きいのが出来たよー」と、競うように楽しみながら作っていました。鬼の面の作成では、各々自分の好きな色を塗っています。「怖いでしょうー」と見せ合いながら作っていました。そして当日、みんなが敬遠しがちな鬼役ですが「ぜひやりたい！」と笑顔での希望者が。上手にお面をかぶって鬼役を演じて盛り上げてくれました。「鬼は外！」「福は内！」「コロナ外！」。みんなで楽しみながら、節分を行うことが出来ました。（記：片桐）



Cグループ

今年度、Cグループ活動の新しい試みとしてリラクゼーション活動を行いました。黒いビニールシートで室内を暗くし、音と光の環境を作りました。テーマは季節に沿ったもので、春は森の中の鳥の声、滝の音、夏は花火、海の生き物、秋には紅葉、列車の旅、夜空、虫の声、冬は焚火の音、冬の景色、朗読などの映像や音を体感しました。天井に映る映像や電飾をじっと見ている人、音を感じている人、朗読の時には職員の声に思わず笑ってしまうなど、心も体もリラックスし、個々の反応や興味を知る機会となりました。

次年度も引き続き感染対策をしながら、一人ひとりのニーズに応えられるよう活動を創りだしていきたいと思います。（記：阿部）

